

「とやま地域学」(開講:富山国際大学)

1883年、富山県が石川県から分県し、今年で130年を迎える。豊かな自然環境に育まれた米を中心とした農業や水力発電による安価な電力の供給により北陸有数の産業県としてこれまで発展を遂げてきました。また、2011年11月には、伏木富山港が環日本海交流、環境保全の拠点として、北東アジアの発展に重大な役割を持つこととなりました。富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データや現地研修を通して『とやま』を知る事、そして21世紀の富山や世界の姿を展望します。

実施年月： 平成25年9月4日～9月7日

場 所： 高志の国文学館 ほか



- 1日目 富山の自然
- 2日目 歴史から見る富山
- 3日目 現代の富山
- 4日目 富山県内でのフィールドワーク
(立山カルデラ砂防博物館など)



| 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 職名 | 担当教員 | | | | | | | |
|--------------------|---|---|-------|-------------------|-------------------|-------|-------|----------|------------|--------|--------------|
| とやま地域学 (集中講義形式) | 前期 | 1年 | 教授 | コーディネーター 尾畑 納子 | | | | | | | |
| | 2単位 | | | | | | | | | | |
| 授業の内容 | <p>< 授業の概要 > 1883年、富山県が石川県から分県し、今年で130年を迎える。豊かな自然環境に育まれた米を中心とした農業や水力発電による安価な電力の供給により北陸有数の産業県としてこれまで発展を遂げてきた。また、2011年11月には、伏木富山港が環日本海交流、環境保全の拠点として、北東アジアの発展に重大な役割を持つこととなった。富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データや現地研修を通して「とやま」を知ること、そして21世紀の富山や世界の姿を展望する。本講義は、県内の各分野の専門家を招いて、オムニバス形式で実施する。</p> <p>< 到達目標 ></p> <p>① 富山県に関する様々な情報をデータから知り、日本や国際社会と比較しながら富山の強み、課題などを学ぶ。 ② 21世紀の富山の活性化策について考えること。</p> | | | | | | | | | | |
| | <p>キー・コンピテンシー（重視する能力）</p> | | | | <p>教育方法（授業方法）</p> | | | | | | |
| | コミュニケーション力 | 協働力 | 課題解決力 | 人間理解力 | 教育支援力 | 知識教授型 | 対話型授業 | 演習・反復型授業 | 地域フィールドワーク | グループ学習 | 授業外学習指導・自主活動 |
| | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | |
| | <p>< 授業計画 > ※ 講師の都合により講義順に変更の可能性あり</p> <p>【1日目】 9/4(水) 富山の自然</p> <p>第1回 立山氷河の発見 公益財団法人立山カルデラ砂防博物館 飯田 肇 氏</p> <p>第2回 崩れる山との戦い 公益財団法人立山カルデラ砂防博物館 菊川 茂 氏</p> <p>第3回 富山の自然環境 富山国際大学現代社会学部 非常勤講師 湯浅 純孝 氏</p> <p>第4回 富山湾のさかなたち 魚津水族館 稲村 修 氏</p> <p>【2日目】 9/5(木) 歴史から見る富山</p> <p>第5回 万葉の遺産 富山国際大学現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p> <p>第6回 立山信仰の心 富山国際大学現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p> <p>第7回 北廻船の活躍 富山国際大学現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p> <p>第8回 近世から近代までの富山の産業(売薬と電気事業を中心として) 富山国際大学現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p> <p>【3日目】 9/6(金) 現代の富山</p> <p>第9回 地域ネットワークに支えられた産業（データから見る富山Ⅰ） 富山国際大学現代社会学部 教授 浜松 誠二 氏</p> <p>第10回 富山の未来の暮らしを考える 石井隆一 富山県知事</p> <p>第11回 富山型福祉の形成（データから見る富山Ⅱ） 富山国際大学現代社会学部 教授 浜松 誠二 氏</p> <p>第12回 新たな社会資本の整備（データから見る富山Ⅲ） 富山国際大学現代社会学部 教授 浜松 誠二 氏</p> <p>【4日目】 9/7(土) 富山県内でのフィールドワーク</p> <p>第13回 立山カルデラ砂防博物館などを予定 → 富山国際大学現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏</p> <p>第14回 } 4日目は、講義を踏まえた関連場所で研修を行います。</p> <p>第15回 }</p> | | | | | | | | | | |
| | 方評法価 | 受講態度及び毎時の課題（50%）およびレポート提出（50%）をもって総合的に評価する。 | | | | | | | | | |
| | 参考文献 | テキスト：著者名『書籍名』（出版社） プリント配布（参考図書については後日情報提供） | | | | | 参考図書： | | | | |
| | 学習等 | | | | | | | | | | |

「災害救援ボランティア論」(開講:富山大学)

阪神・淡路大震災や東日本大震災などの教訓を踏まえ、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容を加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるため学習機会を提供します。

開講日時:平成26年2月18日(火)～21日(金)

開講場所:富山大学(五福キャンパス)他



講義風景

1日目

災害ボランティアと危機管理医学など講義

2日目

災害事例、洪水ハザードマップの活用

3日目

都市における減災対策、AED講習

4日目

施設見学など



AEDの講習風景

| | | | |
|---|---|-------------------------|----------------------|
| 授業科目名(英文名) / Course title | 災害救援ボランティア論 | | |
| 担当教員(所属) / Instructor | 奥寺 敬(医学部医学科), 若杉 雅浩(医学部医学科) | | |
| 授業科目区分 / Category | 教養教育科目 教養科目 | 授業種別 / Type of class | 講義科目 |
| 開講学期曜限 / Period | 2013年度 / Academic Year 後期 他 | 対象所属 / Eligible Faculty | |
| 時間割コード / Registration Code | 106604 | 対象学年 / Eligible grade | 1年 単位数 / Credits 2.0 |
| 連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact | 奥寺 敬(担当教官 奥寺 okudera@med.u-toyama メールでの問合せの際は、科目名をメールのタイトルに、所属・年次・名前を本文冒頭に書いてください 例) タイトル: フィジカルアセスメントについて 本文: 医学科修士・2年次・富山太郎です。……………(以下、問合せしたい本文……………) | | |
| オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours | 奥寺 敬(危機管理医学(救急・災害医学)) 平日10時~15時 内線7786(貝淵まで)) | | |
| リアルタイム・アドバイス / Real-time advice | 更新日 2013/06/25 | | |
| 災害救援ボランティア推進委員会は阪神・淡路大震災の教訓をもとに、大災害を想定した災害救援ボランティアリーダーの育成・登録活動にあたる民間団体として設立されました。 「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、まわりの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度にくい止める活動を行います。 本カリキュラムでは、この災害救援ボランティアを包括し、富山大学と地域の共同研究の成果を加えた本学独自の新しい科目です。 | | | |
| 授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標) / Course Objectives | 教育目標 / Educational Goals | | |
| 阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、1995年7月17日にライフラインの関係者の那須翔(東京電力会長・当時)、渡辺宏(東京ガス会長・当時)、河野俊二(東京海上火災保険社長・当時)、児島仁(日本電信電話社長・当時)、報道関係者の吉村秀實(日本放送協会解説主幹・当時)、行政経験者の長岡實(日本たばこ産業顧問・当時)教育関係者の澤野裕治(日本法制学会理事長・当時)らが中心となって会をボランティアの民間任意団体として結成し、委員長に石原信雄(元内閣官房副長官)を選出し事務局を公益財団法人日本法制学会内に置きました。会の目的に『大地震等の大規模災害に備えて、災害救援を希望する人たちのための講座を行い、災害救援ボランティアを日常的に教育訓練し、地域防災に貢献していくこと』を掲げ、以後、災害救援ボランティア育成及び地域防災の推進、防災の普及啓発に取り組んでいます。 「災害救援ボランティア論」では、この災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学習を提供する。 | | | |
| 達成目標 / Course Goals | 総務省消防庁が示した基準に基づき災害救援ボランティア推進委員会が推進する認定資格「セーフティリーダー(SL)」および総務省消防庁の救命講習である普通救命講習(AED含む)を取得します。 | | |
| 授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule | 講義、実習、演習、学外施設見学 担当講師、講義内容は変更となる場合があります。 | | |
| キーワード / Keywords | 災害救援 ボランティア 救命活動 地域防災 自主防災 | | |
| 履修上の注意 / Notices | 実習にふさわしい服装で受講して下さい | | |
| 教科書・参考書等 / Textbooks | 災害・健康危機管理ハンドブック 診断と治療社 ISBN 9784787815316 | | |
| 成績評価の方法 / Evaluation | 講義・実習の参加態度 レポートによる総合評価 | | |
| 関連科目 / Related course | | | |
| リンク先URL / URL of syllabus or other information | | | |
| 備考 / Notes | | | |

授業計画詳細 / Course schedule

| 回(日時) /Time (date and time) | 主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's | 学習方法と内容 /Methods and contents | 備考 /Notes |
|--------------------------------|---|----------------------------------|---------------------|
| 第1回(2/18 1限) | 災害救援ボランティアと危機管理医学 (奥寺:医学部) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第2回(2/18 2限) | 災害ボランティア活動の基本 (澤野:災害救援ボランティア推進委員会) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第3回(2/18 3限) | 富山県の防災対策 (富山県防災・危機管理課長) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第4回(2/18 4限) | トレーニング:倒れている人をどう救うか (布村:人間発達科学部) | 実習 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第5回(2/19 1限) | 災害事例 (澤野:災害救援ボランティア推進委員会) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第6回(2/19 2限) | 災害ボランティア活動の実際 (澤野:災害救援ボランティア推進委員会) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第7回(2/19 3限) | 地形図から災害を予測する (大西:人文学部) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第8回(2/19 4限) | 防災机上訓練DIG 洪水ハザードマップの活用 (大西:人文学部) | 実習 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第9回(2/20 1限) | 都市における減災対策(1) (梶座:人間発達科学部) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第10回(2/20 2限) | 都市における減災対策(2) (梶座:人間発達科学部) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第11回(2/20 3限) | 普通救命講習・AED(1) (北陸救急災害医療機構・富山市消防局) | 実習 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第12回(2/20 4限) | 普通救命講習・AED(2) (北陸救急災害医療機構・富山市消防局) | 実習 | 五福キャンパス 共通教育棟 |
| 第13回(2/21 1限) | 施設見学・災害体験(1) | 施設見学 | 富山県広域消防防災センター・四季防災館 |
| 第14回(2/21 2限) | 施設見学・災害体験(2) | 施設見学 | 富山県広域消防防災センター・四季防災館 |
| 第15回(2/21 3限) | 災害時の医療救援活動 (若杉:医学部) | 講義 | 五福キャンパス 共通教育棟 |